

研究課題 自他のよさを認め、自ら判断し、
よりよく生きようとする生徒の育成
- 自己決定を導く資料提示や発問の工夫を通して -

1 道徳教育の整備と環境づくり

(1) 校内の指導体制の充実

① 道徳教育推進教師と研修主任の分担と協働

② 全教師が力を発揮できる推進体制と運用

学年部(1年・2年・3年)と平行して、研究開発部をおき、授業研究・体験活動研究・情報分析を行う。

(2) 効果的な資料選定と指導計画の整備

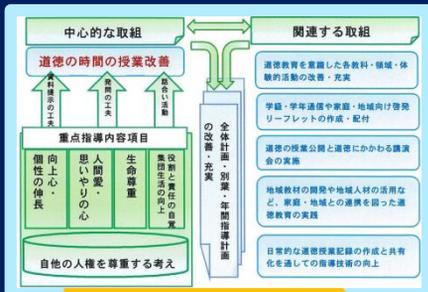
① 資料選定の規準を共有

- ア 資料が長すぎず、指導すべき内容項目と、その資料のもつ道徳的価値が適合していること
- イ 生徒の実態を踏まえ、感動を覚えたり葛藤したりするなど、生徒の心をとらえるものであること
- ウ 重点内容項目「向上心・個性の伸長」「役割と責任の自覚・集団生活の向上」「人間愛・思いやりの心」「生命尊重」については複数の資料を選定し、それぞれの価値が系統的に深められること

② 道徳教育全体計画と別業の整備



道徳の単位時間が、道徳教育全体の補充・深化・統合のいずれにあたるか、明確にして構想します。



研究の構造図

横に見て空欄が多い内容項目は、「補充」を意図して道徳の授業を行います。

平成26年度 道徳教育全体計画別業 道徳の時間と教科指導・特別活動等 (1学年)

道徳教育重点目標	道徳教育重点目標	学校項目	1-① 向上心・個性の伸長	2-② 人間愛・思いやりの心	3-③ 生命尊重	4-④ 役割と責任の自覚・集団生活の向上
内容項目	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-11 道徳的価値観の確立・深化	道徳教育推進委員会(10月) 道徳教育推進委員会(11月)	1学期道徳授業(10月) 2学期道徳授業(11月)	道徳教育推進委員会(10月) 道徳教育推進委員会(11月)	道徳教育推進委員会(10月) 道徳教育推進委員会(11月)	道徳教育推進委員会(10月) 道徳教育推進委員会(11月)	道徳教育推進委員会(10月) 道徳教育推進委員会(11月)
1-12 希望・勇気・強い意志	道徳教育推進委員会(10月) 道徳教育推進委員会(11月)					
1-13 自主・自律・誠実・責任	道徳教育推進委員会(10月) 道徳教育推進委員会(11月)					
1-14 真摯な態度、理想の実現	道徳教育推進委員会(10月) 道徳教育推進委員会(11月)					
1-15 向上心・個性の伸長	道徳教育推進委員会(10月) 道徳教育推進委員会(11月)					
2-11 信頼	道徳教育推進委員会(10月) 道徳教育推進委員会(11月)					
2-12 人間愛・思いやり	道徳教育推進委員会(10月) 道徳教育推進委員会(11月)					

授業における別業の活用



2 道徳の時間における具体化



- ステップ1 担任が指導案(第1案)を立てる
- ステップ2 授業研究部で第1案を検討する
⇒修正し第2案へ
- ステップ3 模擬授業及び授業研究会の実施
⇒修正し第3案へ
- ステップ4 第3案にて同学年別クラスで授業を行う
⇒再度修正したものが第4案(完成版)
- ステップ5 第3案または第4案にて公開授業を行う

模擬授業による授業改善サイクル

○発問の工夫

指導観(価値観・生徒観・資料観)を明確に発問を構成する。

○資料提示の工夫

資料との出合わせ方・場面絵・板書・ワークシート等の検討のうち、特に、学習したことを視覚的に捉えやすくするための、計画的、構造的な板書を工夫する。

○評価の工夫

ワークシートに共通項目を設け、毎時間自己評価させる。年4回の道徳意識調査を行い、生徒の変容を捉える。

